

坂本中学校 自然観察会のご案内

雨に濡れた紫陽花の花が美しく咲いている今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、坂本中学校は市内でも随一の広さの校地を持ち、豊かな自然に恵まれた環境にあります。今回、そんな坂本中学校の自然の魅力を広く知っていただくため、標記のように自然観察会を企画しました。今回の自然観察会は坂本中学校の校地内の樹木を中心に夏の野草などを交えながら、講師の先生から解説をしていただきたいと思います。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

記

日 時：平成27年7月28日（火）10:00～ およそ1時間程度

集合場所：坂本中学校A棟 職員玄関前

講 師：横須賀市自然・人文博物館 山本薫先生 横須賀植物会代表：大前悦宏先生

服装など：帽子、長袖、長ズボン（色は白が適しています。汚れても良いものにして下さい。）

たくさんの昆虫がいます。気になる方は虫除けスプレーなどを使用して下さい。）

水筒など（適時、水分補給ができるようにして下さい。）、筆記用具など

対 象：保護者、地域の方々、小中学校教員（今回は大人の方を対象としています。）

その他：少雨決行、荒天の場合はこちらから連絡します。

申し込み：お電話またはメールで坂本中学校：長谷川隆まで、お名前と連絡先をお知らせ下さい。

メールの場合は件名に『自然観察会の申し込み』とお書き下さい。

坂本中学校 T e l 822-2385 事務担当 長谷川 隆

E-mail admini@sakamoto-j.yknet.ed.jp

申し込み〆切り：平成27年7月17日（金）



市景観重要樹木



イチョウ

市景観重要樹木

カンヒザクラ



さて、この木は何でしょう？

普通救命講習会 開催（6月25日） 坂本連合町内会館にて 坂本婦人防火クラブ

* 心肺蘇生とAEDの使用方法について講習会の様子



**同好会等の活動紹介とメンバー募集などにもこの欄をご利用下さい。（無料です）商業広告の記載も承ります

5cm*20cm 1000円（求人広告は無料です）

ご意見・広告・寄稿は（fax）827-8086（メール）csc_taka@yahoo.co.jp

お問合せ823-4181 編集責任者 斉藤隆親（連合町内会総務担当）

広報さかもと 2015年 7月号

発行者：坂本連合町内会

5月31日

坂本地区避難所運営訓練を実施しました

今回は坂本中学校体育館を避難所とした運営訓練を行いました。

270名を超える参加者があり、大変充実した内容となりましたが、単なる避難訓練と異なり、避難して来てからが重要な訓練項目ですので訓練目的の周知と根本の防災意識の啓蒙が大切になってまいります。

次回は避難所を桜小学校アリーナとして11月に行われる予定です。

*連合町内会館の修復工事が終わりました。

昨年の台風により、連合町内会館の一部が破損し、そのまま放置すれば破損箇所が落下し、会館利用者や、通行人に被害を及ぼす危険があったため、修復にあわせて外壁全般にわたって改修することになり、坂本6丁目の宮崎工務店に見積を依頼し、5月6日の総会承認を得て工事を始め、6月15日に完了しました。

工事中は近隣の皆様や会館利用の皆様になにかとご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありませんでした。ご理解、ご協力感謝いたします。

なお、この工事については、市の会館改修に伴う助成金制度に基づき、改修代金の補助を受けることになっています。



リニューアルなった坂本連合町内会館

築90年ともいわれる建物だけに相当痛んでおりましたが梁などの構造材は非常に頑丈なものが使われていてまだまだ現役として利用されることでしょう。

夏祭り御案内

8月8日(土) 9日(日)

大六天神社祭礼

8日御霊入れの儀神社社殿にて厳かに執り行われます
今年も8日 午後7時過頃より 宵宮神輿予定です

8月9日(日) 第28回連合神輿渡御

午後1時30分 渡御式典開始(氏子総代/来賓挨拶など)

午後2時頃 6丁目会館を出発予定

昨年は雨で中止だった為、今年も同じく当番町会である2丁目の神輿を先頭に桜小校庭まで子ども達の牽く山車に先導されて渡御いたします。

8月15日(土) 16日(日)

坂本連合盆踊り大会

桜小学校校庭 夜店は午後5時オープン(雨天の日は中止)

午後5時45分より盆踊り開始 午後8時終了。今年は坂本1丁目が進行係を務めます。

昨年は神輿が出ました、今年も何か楽しい企画があるかもしれません、乞うご期待!

6月21日クリーンよこすか坂本地区市民の会 総会が開催されました。

平成27年度活動計画 坂本地区及び横須賀市

- | | | |
|--------|---------------------|--------------------|
| *6月20日 | クリーンよこすか市民のつどい | 文化会館大ホール |
| *6月 | クリーン運動推進月間 | |
| *6月 | ポイ捨て防止街頭キャンペーン | 市内主要6駅にて |
| *8月2日 | 花火大会清掃活動 | 汐入から大津地区まで |
| *10月 | 神輿パレード前大通り清掃・啓発活動 | |
| *10月 | 坂本地区 クリーン児童ポスター展 | |
| *10月 | 坂本地区 クリーンキャラバン隊パレード | (聖佳幼稚園の鼓笛隊は参加しません) |
| *10月 | 全市クリーン運動強調月間 | |
| *12月 | ポスター・標語入選作展示 | ダイエーにて |

秋本塗装

代表 秋本利晴
携帯 080-5465-9324

地元業者ならではの「信頼を大切に！」をモットーに頑張っております。

塗装・リフォームのことならおまかせ下さい。お気軽に無料見積もりお申し付け下さい。

生活の中に在る神事と祭事

【7月の祝日】

7月20日・海の日「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日」です。

1995年に国民の祝日と定められました(祝日法)。

日本は、四方を海に守られた島国です。近海には対馬海流・日本海流(黒潮)・千島海流(親潮)・リマン海流が流れており、約4000種類の魚介類が生息しています。そのうちの約300~350種を、私たちは“海の恵み”としていただいているのです。各地の風土に合わせた調理法や保存法、季節感あふれる盛りつけなど、様々な工夫された魚介料理は、日本が世界に誇る食文化といえるでしょう。

今回は、私たちにとって身近で大切な海と神様のお話です。

前号でお話しましたように、神道では「人は神様から生まれ、神様から分け頂いた御霊(みたま)を良心として生きている。ゆえに、心に問いかけながら生きれば正しい道から外れることはない。」としています。悪い事やずるい事をする人を【汚い】と表現するのは、心が穢れ(けがれ)汚れてしまっているという意味です。かつて、心は“胸”ではなく“腹”にあるとされていたため、心の穢れた人を【腹黒い】ともいうのです。“heart(ハート)”が、“心”であり“心臓”でもあるという概念は、明治以降に定着したもので、前時代の武士の作法である“切腹”は、自ら腹部を開いて“穢れのない心”を明かすためであったといえます。そこから派生した慣用語【腹を割って話す】は、互いに心を開き真意を明かして話すという意味です。

神道は生き方の指針であり、宗教ではないため、教典や戒律(宗教上の法や規制)は存在せず、従って罰はありません。犯してしまった罪、心や身についてしまった気枯れ(けがれ)は、良心にしたがって祓い清め(はらいきよめ)することで、罪を償う勇気や気枯れに打ち勝つ強い心を取り戻すのです。

水のお力をいただいて、罪穢れを祓うことを“禊(みそぎ)”といいます。この神事は、古事記でイザナギノミコトが黄泉の国の穢れを川で流したことに由来します。川に浸かる・滝に打たれる・海に入る・あるいは井戸の水をかぶるなどして流し清めるのです。この“禊”が広義に解釈され、【水漱(すすぐ)】・【水で洗う】・【水で流す】なども、禊としての意味をもつようになりました。

(例) 相手に反省を促し、やり直しを求める意味の【顔を洗って出直す】

過去に起きた悪い出来事や諍いを忘れ、無かったことにする意味の【水に流す】

などにも「禊を済ませる」という意味がこめられているのです。

水によって祓い清められた全ての罪穢れは海へと流れてゆき、海におられる神様たちの連携により浄化されます。まず、急流におられるセオリツヒメが罪穢れを大海原に持ち去ります。すると、沖の潮流におられるハヤアキツヒメは、それらを勢いよく呑み込んでしまわれます。海底におられる気吹戸主(イブキドヌシ)は地底の国に吹き祓い、ハヤサスラヒメは、どこにも知れない場所へ持ち去り封じてくださいます。そうして、この世から罪も穢れもすべて消えてなくなるのです。

祓の神事を行う時に、神主が「祓え給へ清め給へ」と唱えるのは、罪穢れを浄化する海の神様たちへのお力添えをお願い申し上げているのです。

日本には、美しい水源や温泉が多く存在しているため、昔から入浴や行水を好む文化があります。

1日の始まりや終わりの入浴を習慣としている人も多いことでしょう。入浴は、身体の汚れを落とすことで清潔さを保ち、疲労回復や健康増進につながります。また、心の疲れを癒し、気持ちを甦らせる(=リフレッシュ)効果もあります。つまり、入浴は“日々の禊”であると言えるのです。

大六天神社

家族葬ホール / 保冷安置室完備

(有) 横須賀博善社

坂本中央プリエールホール

坂本町6-16 (中央斎場入口)

24時間受付フリーダイヤル 0120-60-2089

TEL 822-2089 FAX 822-2625

<http://www.yokosukahakuzensha.jp/>